

『時事直言』 No.1424 2020年10月13日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

避けられない「世紀の大恐慌」

経済バブルとバブル崩壊は5-10年のサイクルで繰り返される。

最後のバブル崩壊は2008年9月のリーマンショックであったが、米政府の大手銀行、保険、ビッグスリー(米三大自動車メーカー)の救済とFRBの金融緩和で米経済は回復し、2020年、コロナ禍にも関わらずNY株価はバブルの頂点に達している。

いよいよ2021年からアメリカを皮切りに世界経済はバブル崩壊必至。

2008年バブル崩壊後、米財務長官ヘンリー・ポールソンが「次のバブル崩壊が起きた時は政府によるベイルアウト(救済)もFRBの金融緩和もないから覚悟しておくように」と言った通り、2021年からのバブル崩壊と不況は一切救済はなく、生き残れる者は残り、力尽きた者は消え去ることになる。

2021年から2024年は世界経済の「自然淘汰の時代」と覚悟すべきである。

トランプは自分の不動産会社を5度も倒産させ、株主と投資家を犠牲にして不動産王にの上がった男である。

トランプは大統領に再選されたら国体が第一(米国家ファースト)で国民も企業も二の次にする。トランプは口には出さぬが2021年からのバブル崩壊で不要な産業や無能な人間が淘汰されることを歓迎する。

トランプは自分を潰す目的でDeep State(目に見えぬアメリカの支配者グループ又は結社)が仕掛けた人工新型コロナウイルスを逆手に取る。

1963年11月22日にケネディ大統領を暗殺し、1998年8月7日にケニアとタンザニアの米大使館を同時爆破し、2001年9月11日にTWC(国際貿易センター)を爆破した犯人こそがトランプ殺しの為の新型コロナの真犯人である。

2021年から2024年の米大統領任期中、トランプは世界という家を焼き払い敵と共に焼死する。

10/15~16配信予定の増田俊男の「インターネット経済セミナー」は、新しい時代の前に強いられる苦難に満ちた残酷な時をどう生き抜くかの道標(みちしるべ)になる。

★小冊子 Vol.118 は予定より遅れております。

もうしばらく発送までに掛かりますのでご了承ください。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 10月09日(金) No. 1008 10月12日月曜から上昇気流
- 10月07日(水) No. 1007 ダウ3万ドルへの駆け引き
- 10月01日(木) No. 1006 円安か円高か
- 09月28日(月) No. 1006 金(ゴールド)は買い時、ニッケイも買い時

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。